

フジキハルカ
Haruka Fujiki

溺愛

征服

と上司へハイスペ
Hな
秘密同居性活

2



ひとりじめして
欲しいです…

ひ…

すごく
男っぽい—

まさか私が…



会社と
全然違う…



課長のベッドで…

こんな事
してるなんて…!

んっ

ちゅっ

ちゅっ

んっ
んっ

ちゅっ

んっ

んっ

名前で呼んで？

課長を
名前で呼ぶ
なんて……！

……

恥ずかしい

……っ

ほら

……しゅ
柊平しゅうへいさんの

いじわる——

ホント
可愛いな

好きだよ

葵衣あおい

やだ……
課長がそんな
甘い声で——

葵衣って呼ばれたら……

好きになっちゃう……！



俺も
我慢できない

イク？

すごい
締め付けてくる

気持ちいいと
こういう顔
するんだな

恥ずかし…

大丈夫
かわいいよ

あああっ
あ
あ
あ





今日は絶対
残業しないで
帰るから
続きしよう

葵衣の可愛い顔
もっと見たい

これ
夢じゃないよね…？



あ
ひおき
日置課長だ

カッコイイ

シュツツとしてて
カッコいいよね

チラッ…

モテそうなのに
チャラくないし

いつも落ち着いてて
クールっていうか
大人の男って感じ

でも

私もそう
思ってた

冷静で
全部が完璧で
遠くから見てる
だけの人…

苦手な事に照れる
可愛い人だったし
すごく優しいのに
Hは激しかった



そんな人が
何で私なんだろう…
私でいいの？

戻りました〜
午後の郵便は
3時まで
お願いします

おがた
緒方さん
ちよつと来て

急な退職で
困ってる営業部に
応援頼むよ

君は明るくて
元気だから
評判良くて…
いつも悪いな

この前は広報だっけ？
総務なのに便利屋
みたいで疲れるな…

営業

すみません
総務から
来た—

こっちこっち！
丁度良かった
今から打ち合せ
一緒に—

…ってあれ？
緒方さん!!

応援って
水無瀬さんと
働くの!?

この人の
このノリ
ニガテかも…

えっと…

びっくりしたー
スゲー偶然じゃん
何か縁が
あるのかなー



面倒だけど
頼む！

大丈夫です！

これ広報で
やったやつだ！
早くできる！！

よし
やるぞー！！

……

緒方さん
歓迎会やろうよ
いつがいい？

え……
私は手伝いなんで
気にしないで下さい

お酒入ってポロっと
話しちゃったら
終わりだし……！

金曜は？

週末にデートの
予定なかったら
来てよ

あ……あの……

水無瀬さん
それセクハラく

ごめんごめん
だって仲良
になりたいし

それって
個人的だった
りして……

ウチ社内恋愛
禁止なのに
緒方さんだ
って困るよ？

イケメンは
皆のもの……！！

ウチの部署
冗談好きで
ごめんねー

女子の目が
笑ってない……！！

そういえば
課長と同期で
人気って
聞いたっけ…

あ！
コロコロ…

ボソッ
俺
緒方さんに
興味あるんだ

キュル

ありがとう
ございます

カリッ

マジで

え…っ

表情は
すぐ変わるし
何なの？

からかっているの？

興味って何？

サッ

さー
頑張って
終わらそうか！

あ…はい

帰ったら
課長に聞いて
みようかな…

このドアアップ
まだ慣れなくて
クラクラしちゃう…!!

カリチャッ

ただいま

か…柊平さん
ごはん食べた？

食べたよ
葵衣は？

おかえり

葵衣

会社で軽く
食べたから
大丈夫

ギョッ

別部署の手伝いなんて
疲れただろう？

水無瀬さんに
緊張してた
せいかな？

うん

課長が
すごく甘えさせて
くれるから
安心しちゃう…

営業部って
人多いのに
水無瀬さんの
手伝いでびっくり
しちゃった…

一日中一緒だから
同居のこと
バレないか心配で…

……

ぐいっ

ごめん

今日は
我慢しようと
思ったけど
ダメだ…

え…？

課長!?

俺が一緒じゃ
ないのにあいつと
一日一緒なんて

嫉妬で
くるいそう



昨日より全然
激し…っ

朝から我慢
してたんだ

メチャクチャに
しそうだよ…



あっ
ぢゅっ

噛み付く
みたいなキス…!

んっ
ぢゅっ



あぁ…んっ

ぢゅっ

あっ
んんっ



終平さん?
何か怒ってる…?

しゅ…

はあっ



んっ
ぢゅっ

んっ
んんっ
ぢゅっ
ぢゅっ



怒って
ないよ

…むしろ

葵衣には俺だけしか
見えないように
なればいいのにつて
思ってる

目つきが違う—



ドキドキ
しちゃう…!!

あっ

クッ

バッ

あっ

んんっ

すいっ

あっ

あっ

あん…っ

こんなに
荒っぽいのに—

いつもからは
想像できない



ほら
こんなに
あふれてる

こういうの
好き?

繋がつてる所
ドロドロだよ?

や...っ

あっ

あっ

はっちゃん



そこ一緒に
いじらないで...!

んん〜

んう〜っ



葵衣のナカ
狭くて
気持ちいい...

おかしく
なっちゃう...!

あっ

あっ

ああっ

ん...あ

はっちゃん





に…苦手とは
言えない…

そんな事は
ないですけど…

本当に
よくわからない
人で困る…

他空いてなくて…
経企の日置課長が
相席して良い
そうです！

あ！
水無瀬さん
こっちッス！

よかった

!!

日置課長
お疲れさまです

しゅ…

あ…お…
お疲れさま

ひえええ…！

うん
いいねソレ

…の件で

…

柊平さん見ると
ニヤけちゃう

水無瀬さんも
いるのに！
バシたら
終わりだよ…！？

下向いてるよ…

あ…
ハンバーグ
好きなんだ？

作ったら
食べて
くれるかなあ…

ね？
緒方さん？

えっ

ポッ

ボーっとして
俺の話聞いて
ないなく？

そんな…

いつもの
飲み会の延長だし
気軽に参加して！

歓迎会かねて
飲み会やろうって
言ってるの

ホントに
緒方さんと
仲良くなりたい
んですねー
先週も
誘ってたし

……

それ

俺も参加して
いいか？

To be continued...

フジキハルカ先生 大好評既刊本のお知らせ

遅しい腕に奪われる
一途なレスキュー隊員の溺愛 SEX

花屋で働くアラサー・希は、イケメンだけど遊んでそうな常連・青葉に苦手意識全開。ある日、大雨の中お花の配達に向かったら突然の停電でエレベーターが停止してしまった！狭い空間に一人で閉じ込められ、寒さと恐怖で限界が近付く希だったが、そこへレスキュー隊の姿をした青葉が現れー！？懸命に声をかけてくれて、震える身体をがっしりとした腕で包まれると、優しさと暖かさで不安が消えていき…。ところが、霞む意識の中で彼の熱い唇が深くキスしてくるのを感じてー！？



「感じてる声、聴かせて？」
アラサー OL の私が媚薬 SEX に喘がされ…
(全 6 巻)



「不感症」を理由に彼氏にフラれた製薬会社勤務のアラサー OL・陽菜。泣いてる所にばったり再会したのは幼馴染の啓！？情報に厳しい製薬会社は同業他社の人との付き合いにも厳しいのに、啓はライバル会社のエリート研究員で！仲良くなんて言語道断なのに『感じるようになる薬』を渡され！？「俺じゃダメ？」と昔とは違う力強さで押さえつけられ、雄の目で見つめられるとドキドキしてしまう！そのまま指が入り込んできて責め立てられるとアソコがじんじんしちゃうー！！

禁断の恋 ヒミツの関係



「イイ事……教えてあげる」
従兄のお兄ちゃんに教わる性のお勉強。身体を
触られ開発されて、母の前でハジメテを…。



大人気レーベルが電子雑誌で登場！
誰にも言えない禁断ラブが盛りだくさん♥

『育てて、壊す。～少女と従兄の不道德な関係～』（つきのおまめ）、『恥感調理部の裏指導～迫る兄弟の触手』（神室リツコ）、『王子様完全飼育まにゅある』（篠原ゆか）

その他、人気作品を大ボリューム収録☆



♥電子単行本も好評発売中♥



溺愛征服

ハイスぺ上司とHな秘密同居性活②

著 者 フジキハルカ
©Haruka Fujiki 2019

発 行 秋水社/MAHK
発 売 秋水社/MAHK

★この物語はフィクションであり、実在の人物・団体・事件などには一切関係がありません。
本書の無断複写・複製・転載を禁じます。

フジキハルカ
Haruka Fujiki

溺愛

征服

と上司へ
Hな
秘密同居性活

3



ずっと断ってたし
たまには
顔出そうと思って



しゅ…
柊平さん
何考えてるのー!?

珍しいな
お前が来るなんて

参加人数
増えそうですね

ふーん?

まあ誰でも
歓迎だから
来いよ



一緒にいたら
勘づかれそうだし

柊平さんが
行くなら
私は行かない方が
いいと思う…!!

もしバレちゃったら
「何であなたなの!」
って言われそうだし…

何で?



何でそんなに
隠したがるんだ?

だって…

柊平さんと
私じゃ
釣り合っ
てないから

誰に何と
言われても
俺は葵衣が
好きだ

嬉しいのに
私でいいの？
って思っちゃう…

だから
一緒に行く
いいね？

んっ…

どうしても
自分に自信が
持てないよ…

今日の飲み会
日置課長
来るらしいよ

今日は
緒方さんの
歓迎会だから
残業ナシ！

え？ホント？
普段何してるか
聞きたい…！

恋人とか
いるのかな

やっぱり
行くべきじゃ
ない気がする

みんな
楽しみに
してるって！

はい…



それ絶対に聞きたいよね!!

私だって聞きたいと思うもん…

でも柊平さんが適当にスルーしてくれるはず…!

それそれ! 他社の子からも聞かれるから教えろよ

やました 山下との噂ってマジ?

余計な事言わないで…!!

…

それだけはダメ…!!

ごめん遅れて!

実は—

柊平さん!?

山下さん!!

おー お疲れ!

お疲れさま~



私には
言わなくても
良いって事？

家空けるのに？

私は
間借りしてる
だけだし
関係ないから？

それとも
ただ言い忘れ？

あゝでも日置課長と
山下さんって
付き合ってた欲しい〜

社内で一番
お似合いなのに〜

コラ！

しっさいよ!!

だから俺は
山下じゃなくて

隣に座っても
お似合いなんて
言われる事は
ないんだろうな...

柊平さん!?

.....

ちよつと
待ってー

お...

ほ...ホントに
お二人って
お似合いです!
憧れです!

え...

もし
お付き合い
されてても
内緒にしますね!

日置課長

どく

あ…

柊平さん
今すごく怒った？

…悪い
仕事の話だから
堅苦しいし
やっぱりやめるよ

あんな表情
見た事ない…

本当は私も
付き合ってるって
言いたいよ

でもどうしても
自信がなくて

ごめんなさい…

やば…
自業自得なのに
気を抜いたら
泣きそう

キゅっ

…

別の事考えて
気分を
紛らさないで

緒方さん
電車大丈夫？

えっ

下向いてるから
終電の時間確認
してるのかと
思ってる

あ…

本当に
周りの事
よく見てる人…

柊平さんが
怒ってるのわかって
一緒にいるの辛いし

これ以上いたら
水無瀬さんには
確実にバレそう

ちょっと
用事があつて
先に帰らせて
貰いたいです

そっか
気をつけて
帰って

送ってあげたいけど
彼氏に怒られそうだし

そ…
そんな事は…

気付いた!?

とにかく
この場から
離れないと…!!

それじゃ
失礼します



柊平さんの
あの顔が
頭から離れない

疲れた…

恋人に
他の人のほうが
お似合いなんて
言われて怒るの
当たり前だよ

傷つくよ



私本当に
バカだな…

いっわ…



待って!

柊平さん!!

抜けるのに
ちよつと遅れた

ちよ...

柊平さん抜けたら
皆がっかりしちゃう

皆酔いたい
だけだから
すぐ忘れるよ

今まで散々
介抱して
知ってるんだ

え...?
走って来たの!?

はあッ

それより
ごめん

言わなくても
いい事言わせて
悪かったよ

怒ってないの?

...それとも
俺が勘違いしてて
本音では俺の事
好きじゃないなら

わたし酷い事
言ったのに...

違うの！

違う！
柊平さんは
全然悪くない

私のせいなの

自信がなくて
引け目があったー

私の勝手な劣等感で
柊平さんに嫌な思い
させちゃったー

……何で
そんな風に
思うんだ？

え……？

こんなに
魅力的なのに

魅力的……って
私が……？

俺の恋人は――

優しいし
可愛いし

家事が
メチャクチャ
上手い

それに堅実な
仕事で信頼できるって
あちこちの部署から
よく聞いてた

そんな風に
見えてくれる
なんて嬉しい

その
照れてる顔も
可愛い

……!

素直で
明るくて

でも
考えすぎて
悩みやすい

そういう所も
全部好きだよ

私の思い込みで
もう絶対に
傷つけたくない

うん……

もっと
前向きに
ならなきゃ……

俺は――



いつか葵衣と
夫婦として
一緒に働けるように
なりたいな

葵衣？

どうしたんだ？

夫婦で
働く……!?

青だ

えーと…
今柊平さん
何て言った？

え…!?

この辺まで
歩けば
大丈夫だろ

グアイッ

行くよ

う…うん…

それって
私と結婚考えてるの…？

ただいま

ただいま…

あの後は
何も言われ
なかったけど

勘違いだったら
恥ずかしいし
フツーにしてなきゃ

何事も
なかったように！
平常心！

柊平さん
明日出張でしょ？
先にお風呂使って

ええ…っ!?

…一緒に入ろう





そんなに
まじまじと
見ないで…

お風呂のせい？

身体が熱い…

葵衣の
可愛いところ
全部見せて

グ
ッ

あ…っ

もっと足広げて

ほら

そんな…!

恥ずかし
すぎる…!!

見られるだけで
こんなに
ビチョビチョに
なってるよ

こども
ピンクで
可愛いな

言わない—

あ…あっ!

じゅる
じゅる

じゅる



ヒュー

ふふ...

ヒュー

ズ

ズ

んっ

んっ

ズ

グ

んっ

リ

リ

リ

奥突かれるの
好きなの？

おかしく
なっちゃう！

あ...あ

やふ



大丈夫
気持ち
良かった



いつも
無理させて
ごめん

身体
大丈夫か？

明日から
会えないと思うと
止まらなくて――



柊平さんも
そうだったら
嬉しいし！



葵衣と
離れるなんて
イヤだな

たった3日間の
出張なのに
永遠に続くような
気がするよ！



ずっと一緒に
こうしていられたら
いいのに

…あやバイ
またキスしたく
なってきた

私も――
どうしようもなく
好きになつてゐる……

どうしようもなく
好きだ

ちがふ……

3日間だけ
留守番
さみしいな……

柊平さん
今頃は上海に
着いてるかな？

緒方さん
今日は
元気ないね？

そう
そんな事
ないです！

ふーん？

営企の矢部さんに
書類届けてくれる？

はい

……

To be continued...

溺愛征服

ハイスぺ上司とHな秘密同居性活③

著 者 フジキハルカ
©Haruka Fujiki 2020

発 行 秋水社/MAHK
発 売 秋水社/MAHK

★この物語はフィクションであり、実在の人物・団体・事件などには一切関係がありません。
本書の無断複写・複製・転載を禁じます。